

「治療と仕事の両立支援に関するアンケート」結果報告

1、「治療と仕事の両立支援」に関するアンケート結果

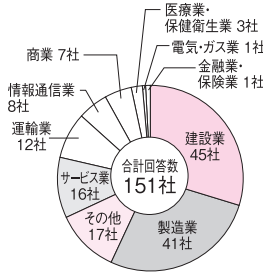
この度、本誌平成30年12月号と共に送付、実施しました「治療と仕事の両立支援」に関するアンケート(12月30日締切)に、当協会の会員事業場を中心に151件の回答がありました。アンケートにご協力下さいました皆様に感謝申し上げます。

アンケートの問い(Q)に対する回答番号が下段の2桁の数字です。本アンケートでは、「回答1項目」の問いに対して複数回答が記入されていた場合、すべての記入を計上しています。また、回答の下にあるアルファベットは回答事業場の業種、カナは企業規模の内訳です。

一 回答事業場について

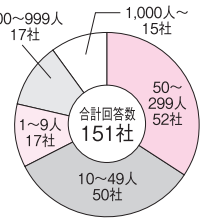
【業種】(社)

A	建設業	45	G	金融業・保険業	1
B	製造業	41	H	宿泊業・飲食店	0
C	電気・ガス業	1	I	医療業・	3
D	情報通信業	8	J	保健衛生業	
E	運輸業	12	K	サービス業	16
F	商業	7		その他	17



【企業規模】(社)

ア	1～9人	17
イ	10～49人	50
ウ	50～299人	52
エ	300～999人	17
オ	1,000人～	15



【Q1】 現在、私傷病(がん・脳卒中・心疾患・糖尿病・肝炎・その他の難病)を患っていることにより、反復・継続して治療が必要な状態にある社員(パートタイマー等を含めます)はいらっしゃいますか? (回答1項目)

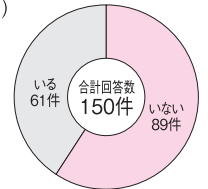
(回答の下にあるアルファベットは回答事業場の業種、カナは企業規模の内訳です)

(件)=以下同じ

- 11 いる
A17、B16、C1、D4、E6、F3、G0、H0、I1、J6、K7、ア2、イ7、ウ26、エ12、オ14
- 12 いない (⇒Q4へ)
A27、B25、C0、D4、E6、F4、G1、H0、I2、J10、K10、ア14、イ43、ウ26、エ5、オ1

61

89



- 11「いる」と回答した事業場は61件で全体の約41%でした。
- 11「いる」と回答した事業場を企業規模からみると、従業員数9人以下で約12%、49人以下で約14%、50人以上で50%、300人以上で約71%、1000人以上の事業場は約93%となっています。

【Q2】 社員が私傷病(がん・脳卒中・心疾患・糖尿病・肝炎・その他の難病)を患っていることにより、労務管理等で苦慮していることがありますか? (回答1項目)

- 21 ある
A9、B13、C0、D1、E5、F2、G0、H0、I1、J4、K2、ア1、イ4、ウ14、エ7、オ11
- 22 ない (⇒Q4へ)
A15、B9、C1、D3、E2、F2、G0、H0、I0、J2、K7、ア5、イ11、ウ16、エ6、オ3

37

41

- 21「ある」と回答した事業場は37件で、全回答の約47%の事業場が労務管理等で苦慮していることがある、となりました。
- 21「ある」と回答した事業場を企業規模からみると、従業員数9人以下で約6%、49人以下で8%、50人以上で約27%、300人以上で約41%、1000人以上の事業場は約73%となっています。この回答は、Q1と似た傾向になりました。

【Q3】 社員が私傷病(がん・脳卒中・心疾患・糖尿病・肝炎・その他の難病)を患っていることにより、労務管理等で苦慮していることは、何ですか? (複数回答)

- 31 「私傷病に罹った社員」の配置・処遇
A9、B9、C0、D1、E3、F1、G1、H0、I1、J2、K2、ア1、イ4、ウ11、エ7、オ6
- 32 「私傷病に罹った社員」の担当業務の維持継続
A7、B9、C0、D1、E2、F2、G0、H0、I1、J3、K2、ア1、イ2、ウ12、エ6、オ6
- 33 「私傷病に罹った社員」との意思疎通
A1、B1、C0、D1、E4、F0、G0、H0、I0、J1、K2、ア1、イ2、ウ4、エ1、オ2
- 34 他の社員からの理解・協力
A6、B6、C0、D0、E2、F0、G0、H0、I1、J2、K2、ア1、イ3、ウ4、エ5、オ6
- 35 主治医との連携・情報共有
A0、B2、C0、D0、E1、F0、G0、H0、I0、J2、K1、ア0、イ1、ウ1、エ1、オ3
- 36 その他
A0、B1、C0、D0、E1、F0、G0、H0、I0、J0、K0、ア0、イ0、ウ0、エ1、オ1

29

27

10

19

6

2

- 31「私傷病に罹った社員」の配置・処遇」29件、32「担当業務の維持継続」27件と回答した事業場が多くありました。
- Q1の私傷病を患っていることにより、反復・継続して治療が必要な状態にある社員がいると回答した61件からみると、約48%の事業場がこの2件の問題に苦慮していることが分かります。
- また、34「他の社員からの理解・協力」は19件で、Q1の回答61件からみると約30%の事業場で苦慮しています。
- 36「その他」には、「社会保険料の回収」、「適切な勤務制度がない」等がありました。

【Q4】 いままでに、社員が私傷病(がん・脳卒中・心疾患・糖尿病・肝炎・その他の難病)のため離職したことがありますか？ (回答1項目)

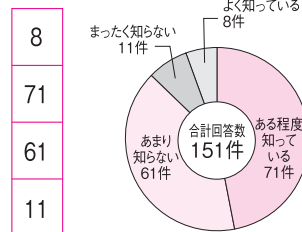
- 41 ある
A17、B18、C1、D2、E6、F4、G0、H0、I2、J7、K2、ア2、イ7、ウ24、エ14、オ12
- 42 ない
A28、B22、C0、D6、E6、F3、G1、H0、I1、J9、K14、ア14、イ42、ウ28、エ3、オ3

59
90

- 41「ある」の回答は59件で、アンケートの全回答数151件からみると約39%の事業場で離職したことがある、となりました。
- 41「ある」と回答した事業場を企業規模からみると、従業員数9人以下で約12%、49人以下で約14%、50人以上で約46%、300人以上で約82%、1000人以上の事業場は約80%となっています。この回答は、Q1と似た傾向になりました。

【Q5】 「治療と仕事の両立支援」とは何か、ご存知ですか？ (回答1項目)

- 51 よく知っている (具体的な内容まで知っている)
A1、B2、C1、D1、E0、F1、G0、H0、I1、J0、K1、ア2、イ1、ウ3、エ1、オ1
- 52 ある程度知っている (大まかな内容を知っている)
A20、B22、C0、D4、E2、F3、G0、H0、I2、J11、K7、ア5、イ19、ウ27、エ10、オ10
- 53 あまり知らない (聞いたことはあるが、どのようなことかは知らない) (⇒ここで終了)
A21、B14、C0、D3、E8、F2、G1、H0、I0、J3、K9、ア8、イ26、ウ18、エ6、オ3
- 54 まったく知らない (聞いたこともない) (⇒ここで終了)
A3、B3、C0、D0、E2、F1、G0、H0、I0、J2、K0、ア2、イ4、ウ4、エ0、オ1



- 51「よく知っている」と52「ある程度知っている」の回答を合わせると79件で、アンケートの全回答数151件からみると約52%の事業場が知っている、となります。
- 51「よく知っている」と52「ある程度知っている」の回答を業種からみると、医療業・保険業、電気・ガス業で100%、サービス業で約7割、情報通信業、製造業で約6割の回答でした。また、企業規模からみると、9人以下と49人以下で約40%、50人以上で約58%、300人以上で約65%、1000人以上の事業場は約73%となっています。
- 認識度は、企業規模に比例して高くなる傾向にあります。

【Q6】 「治療と仕事の両立支援」に取り組む必要性を感じますか？ (回答1項目)

- 61 大いに感じる
A6、B7、C1、D3、E1、F4、G0、H0、I1、J6、K3、ア4、イ5、ウ12、エ6、オ5
- 62 ある程度感じる
A20、B18、C0、D4、E4、F1、G0、H0、I2、J5、K6、ア6、イ19、ウ22、エ6、オ7
- 63 あまり感じない
A1、B0、C0、D0、E0、F0、G0、H0、I0、J1、K1、ア1、イ1、ウ1、エ0、オ0
- 64 まったく感じない
A0、B0、C0、D0、E0、F0、G0、H0、I0、J0、K0、ア0、イ0、ウ0、エ0、オ0

32
60
3
0

- 61「大いに感じる」と62「ある程度感じる」の回答を合わせると92件になり、アンケートの全回答数151件からみると約61%の事業場で「治療と仕事の両立支援」に取り組む必要性を感じる、となりました。
- 61「大いに感じる」と62「ある程度感じる」の回答を業種からみると、医療業・保険業、電気・ガス業で100%、情報通信業で約9割、商業とサービス業で約7割、製造業と建設業で約6割の回答でした。また、企業規模からみると、9人以下で約59%、49人以下で約48%、50人以上で約65%、300人以上で約71%、1000人以上の事業場は約80%となっています。
- 認識度は、企業規模に比例して高くなる傾向にあります。

【Q7】 「治療と仕事の両立支援」のための取り組みを行っていますか？ (回答1項目)

- 71 取り組んでいる
A5、B6、C1、D1、E2、F2、G0、H0、I2、J5、K2、ア2、イ2、ウ8、エ4、オ10
- 72 取り組みの準備をしている (⇒ここで終了)
A6、B4、C0、D1、E0、F1、G0、H0、I0、J1、K0、ア2、イ3、ウ5、エ3、オ0

26
13



- 73 取り組みを行うか検討中である (⇒ここで終了)
A14、B12、C0、D4、E2、F2、G0、H0、I1、J4、K5、ア6、イ13、ウ18、エ5、オ2
- 74 取り組み予定はない (⇒ここで終了)
A2、B3、C0、D1、E1、F0、G0、H0、I0、J2、K3、ア1、イ7、ウ4、エ0、オ0

44

12

- 71「取り組んでいる」の回答は26件で、アンケートの全回答数151件からみると約17%の事業場で取り組んでいることが分かります。
取り組んでいる事業場を企業規模からみると、9人以下で約12%、49人以下で4%、50人以上で約15%、300人以上で約24%、1000人以上の事業場は約67%となっています。
- 72「取り組みの準備をしている」と73「取り組みを行うか検討中である」の回答の合計57件をアンケートの全回答数151件からみると約38%の事業場が何らかの対策の必要性を感じていることがうかがえます。

【Q8】「治療と仕事の両立支援」を行うため、どのような取り組みをしていますか？ (複数回答)

- 81 事業者による基本方針の表明 (両立支援に取り組むに当たっての基本方針を定め、全社員に周知すること)
A0、B1、C0、D1、E0、F0、G0、H0、I0、J0、K0、ア0、イ0、ウ2、エ0、オ0
- 82 両立支援の意識啓発 (両立支援を円滑に実施するため、管理職・全社員に対して研修等を行うこと)
A0、B0、C1、D1、E0、F0、G0、H0、I0、J1、K1、ア0、イ0、ウ3、エ0、オ1
- 83 相談窓口の設置 (社員が安心して相談できるよう、社内に相談窓口を設置すること)
A3、B2、C1、D1、E1、F1、G0、H0、I0、J2、K0、ア0、イ0、ウ4、エ1、オ6
- 84 相談の対応手順の明確化 (プライバシーに配慮した対応手順等の社内ルールを作成すること)
A1、B0、C1、D1、E1、F1、G0、H0、I0、J2、K0、ア1、イ0、ウ3、エ0、オ3
- 85 両立支援に活用できる勤務制度等の整備
(病気休暇制度・時間単位年休・時差出勤制度・短時間勤務制度・試し出勤制度・テレワーク等を導入すること)
A5、B7、C1、D1、E2、F1、G0、H0、I3、J5、K2、ア3、イ3、ウ6、エ6、オ9
- 86 その他
A0、B0、C0、D0、E0、F0、G0、H0、I0、J2、K0、ア1、イ0、ウ0、エ0、オ1

2

4

11

7

27

2

- 85「両立支援に活用できる勤務制度等の整備」が27件と最も多い回答でした。
Q7の回答を参考にみると、治療と仕事の両立支援に取り組んでいる企業が取り組んでいる内容と推測できます。
- 83「相談窓口の設置」11件、84「相談の対応手順の明確化」7件で、85「両立支援に活用できる勤務制度等の整備」に次いで社内ルールの整備を優先する傾向が分かります。
- 86「その他」では、「勤務継続に向けて、本人、家族、産業医、部門長との協働による個別対応を行っている」、「小規模の事業場だが公的制度をフル活用し、融通が利くので社会と切り離さず共存する選択が可能」などの回答がありました。

【Q9】実際に、従業員に対して「治療と仕事の両立支援」を行ったことがありますか？ (回答1項目)

- 91 ある
A5、B5、C1、D1、E2、F1、G0、H0、I0、J4、K1、ア0、イ0、ウ7、エ3、オ10
- 92 ない
A1、B2、C0、D0、E1、F1、G0、H0、I3、J2、K1、ア3、イ3、ウ2、エ3、オ0

20

11

- 91「ある」の回答が20件でした。
Q7の71「取り組んでいる」の回答を参考にすると、1000人以上の事業場のほとんどで「治療と仕事の両立支援」を行った(行っている)ことが分かります。

【総括】

- 以上のアンケート結果より、「治療と仕事の両立支援」に関して企業に問題意識があり、実際にこの問題に直面している企業があることがわかりました。ただし社内で体系的な環境整備がなされておらず、既存の制度で対応している実態が浮かび上がりました。

2、「治療と仕事の両立支援」に関する情報、相談先

治療と仕事の両立支援に関する情報やご相談は、独立行政法人労働者健康安全機構 愛知産業保健総合支援センターが対応しています。

愛知産業保健総合支援センターのホームページでは、治療と仕事の両立を支援するための愛知県内の相談窓口、各種資料・リーフレットのほか、両立支援のための労務管理セミナーを紹介しています。ぜひご覧ください。



■ 愛知産業保健総合支援センター ☎052-950-5375 ■

愛知産業保健総合支援センター

検索

治療と仕事の両立を支援するための

愛知県内の相談先一覧

よし!
相談しよう!!

※祝日・年末
年始を除く



職場で働き続けるための調整支援について

愛知産業保健総合支援センター

月～金 8:30～17:15

tel. **052-950-5375**

愛知産保センター

検索



※労働者向けまたは管理監督者向け社内セミナーを実施

日本キャリア開発協会

JCDA キャリア

検索



★調整支援とは、事業場と患者(労働者)との間の仕事と治療の両立のためにアドバイスをを行うこと(患者からの申出による)

休暇・労働時間制度、傷病手当金等各種制度の活用について

愛知労働局総合労働相談コーナー

月～金 9:30～17:00

【休暇、労働時間制度等】

(14カ所)

愛知 総合労働相談

検索



愛知県社会保険労務士会

総合労務相談室

火(祝日除く) 10:00～12:00、13:00～16:00

tel. **052-871-2278**

全国健康保険協会(協会けんぽ)

月～金 8:30～17:15

【傷病手当金、高額療養費】

tel. **052-856-1490**

※健康保険組合の加入者は、それぞれの組合へ

あいち雇用助成室【助成金の案内】

月～金 8:30～17:15

tel. **052-219-5519**

今後の治療が仕事に及ぼす影響について

がんの場合:

愛知県 がん相談支援センター

(がん診療連携拠点病院)

愛知県 相談支援センター

検索



糖尿病の場合:

中部ろうさい病院

両立支援相談窓口

月～金 13:00～17:00

tel. **052-652-5511**

(代表)

若年性認知症の場合:

愛知県若年性認知症総合支援センター

月～土 10:00～15:00

tel. **0562-45-6207**

作成協力: (一社) 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ 2017.09.01

■ あいち地域両立支援推進チーム ■ 両立支援の取組の連携を図り、病気を抱える労働者が活躍できる環境を整備することを目的として、愛知県内における両立支援を推進する関係者で構成するチームです。

※チーム名「あいち」=(あ)安心して(い)活き活き(ち)治療を受けながら働けるよう支援する

【チーム構成機関】愛知労働局、愛知県、名古屋市、愛知県医師会、愛知県経営者協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、愛知県社会保険労務士会、日本医療社会福祉協会、日本産業カウンセラー協会、日本キャリア開発協会、愛知労働基準協会、全国健康保険協会愛知支部、労働者健康安全機構中部労災病院、旭労災病院、愛知産業保健総合支援センター